

子どもを持たない理由「経済的不安」トップ

日本の結婚しやすさ・少子化対策ともに「10点満点で4点以下」

[KSI Web調査] 少子化に関する意識調査

新産業に挑戦する企業に対して政策活動やリスクマネジメントのサポートなど、パブリックアフェアーズ領域で総合的なコンサルティングを行う紀尾井町戦略研究所株式会社（KSI、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：別所 直哉）は、月に2回程度、時事関係のトピックを中心としたWeb調査を1,000人に行っています。

調査の背景

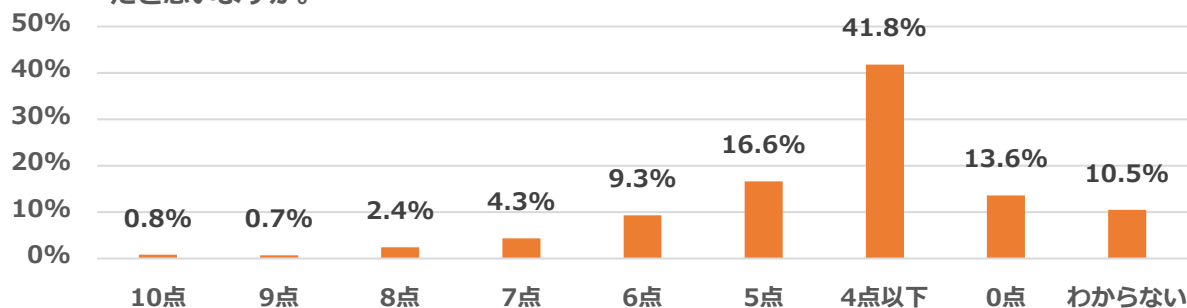
2022年の出生数は速報値で調査開始以来初めて80万人を割り込みました。岸田首相は「異次元」の少子化対策を最重要政策に位置づけており、今年4月にはこども家庭庁が発足します。今回は少子化に関する意識調査を、2022年12月21日から23日にかけてYahoo!クラウドソーシングで実施しました。18歳以上の全国の男女2,400人からの回答を集計しています。

調査結果サマリ

日本が結婚しやすい国かどうかは10点満点で4点以下が28%と最多だった。少子化対策も同4点以下が41%でトップ。今後、子どもを持つと思うかどうかは「現在未婚で、将来単身のままでも結婚しても子どもを持つとは思わない」25%が1位で「結婚するなら子どもを持ちたい」17%が続いた。

自身やまわりが子どもを持たない理由として考えられることを複数回答で聞くと、18歳から45歳では経済的不安の39%が最多だった。46歳以上では経済的理由であきらめた人は3位だった。子育てに必要な世帯年収は500万円以上600万円未満が19%で1位。若い世代が安心して結婚できるように必要なことを複数回答で聞くと「安定して賃金を得られる支援」73%が最も多かった。産後パパ育休を利用したい、利用してほしい人は18歳から45歳で43%を占めた。

Q19 少子化対策のための政策に点数を10点満点で付けるとすると、あなたは何点だと思いますか。



- 結婚経験の有無などについては、結婚経験のない人が58.8%で最多だった。（Q6）
- 結婚に関し「できない、考えたことがない、したくない」と思った時に、その理由を聞くと「そのように思ったことがない」28.8%が最多。「相手がいないから」27.5%、「相手の人生を背負うようで重く、一人の方が楽に思える」18.7%が続いた。（Q7）
- 結婚経験がないと答えた人を除くと、結婚期間は5年超から10年以内が8.0%で最多だった。（Q8）

- ・日本が結婚しやすい国かどうかを10点満点でつけると4点以下が28.5%で最多だった。男性に限ると30.1%に上った。(Q9)
- ・子どもがいるかどうかについて、いない人が69.9%を占めた。(Q10)
- ・少子化が続くことが日本社会にとって問題だと思える人は79.9%を占めた。男性に限ると81.2%に上った。(Q11)
- ・今後、子どもを持つと思うかどうかは「現在未婚単身で、将来単身のままだでも結婚しても子どもを持つとは思わない」人が25.1%で最多だった。次いで「結婚するなら子どもを持ちたいと思う」の17.8%で、そう思う人は男性20.9%、女性14.8%だった。(Q12)
- ・子ども持つことをためらう理由について複数回答で聞くと、18歳から45歳では「経済的に不安がある」39.7%が最多。男女・年代別に見ると、女性31歳から35歳、女性36歳から40歳がいずれも9%超で最多だった。次いで8%台が男性31歳から35歳と36歳から40歳、女性18歳から25歳と26歳から30歳だった。
自身や周囲が子供を持たない理由として考えられることを46歳以上の人に複数回答で聞くと、「そもそも子どもを持ちたいとは思わなかった」が最多で、次いで「経済的理由であきらめざるを得なかった」「結婚できなかった」の順だった。男性では「経済的理由であきらめた」、女性では「妊娠に挑戦したが恵まれなかった」がトップだった。
「今の社会には不安があり子どもに不安を感じさせたくない」ということを挙げた人について、男女・年代別に見ると、女性31歳から35歳が8%台で最多だった。(Q13)
- ・子どもを育てるのに必要だと思う世帯年収は500万円以上600万円未満が19.0%で最多だった。男性に限ると21.2%を占めた。(Q14)
- ・若い世代が安心して結婚できるように必要なことを複数回答で聞くと「安定して賃金を得られる支援」73.4%が最多だった。女性に限ると75.0%を占めた。男女・年代別に見ると、男性36歳から40歳、女性26歳から30歳、36歳から40歳がともに13%超となり最多だった。
「結婚や子育て支援の給付」を挙げた人を男女・年代別に見ると、女性26歳から30歳の14%が最多。次いで女性18歳から25歳、31歳から35歳がともに13%台となった。男性に限ると18歳から25歳、36歳から40歳がともに12%台で最多だった。(Q15)
- ・子どもがいる、あるいは子どもを持ちたいと考えている人に対し、配偶者の育児と仕事のバランスの理想を聞くと「子どもはいないし持ちたいとは思わない」27.5%が最多で「職場の制度で許される間は休む」14.3%が続いた。(Q16)
- ・「産後パパ育休」を利用したい、利用してほしい人は18歳から45歳で43.4%に上った。46歳以上の男性では「今後、子どもを持つつもりはない」が最多で「利用したい」が続いた。(Q17)
- ・日本で少子化が継続した場合の悪影響を複数回答で聞くと「生産年齢人口が減るなどし、国家財政や社会保障が立ちゆかなくなる」84.9%が最多だった。女性に限ると87.0%を占めた。(Q18)
- ・少子化対策のための政策に点数を付けると10点満点で4点以下が41.8%で最多だった。(Q19)
- ・重要だと思う国の政策課題を聞くと「景気や雇用」33.4%が最多で「物価高対策」23.1%が続いた。「少子化対策や子育て政策」は14.7%で3位だった。(Q20)
- ・岸田内閣を「支持する」10.2%（前回12月1日16.2%）、「支持しない」64.8%（63.3%）だった。(Q21)
- ・政党支持率は自由民主党16.1%（前回12月1日20.0%）、立憲民主党3.8%（4.6%）、日本維新の会7.7%（9.6%）、公明党1.9%（1.4%）、国民民主党4.9%（3.9%）、日本共産党1.7%（1.9%）、れいわ新選組2.7%（1.6%）、社民党0.1%（0.5%）、NHK党1.8%（1.8%）、参政党0.5%（0.8%）、その他の政党・政治団体0.2%（0.2%）、「支持する政党はない」とする無党派層51.0%（50.4%）(Q22)

※本調査結果に関するクロス集計（男女別、年齢別など）をご覧になりたい方は、本リリースの最後のページに記載されているお問い合わせ先からご連絡ください。

調査結果グラフ（全体）

Q1 あなたの年齢を教えてください。					
男性（計1200人）			女性（計1200人）		
年齢	人数	割合	年齢	人数	割合
18歳	11	0.9%	18歳	21	1.8%
19歳	22	1.8%	19歳	19	1.6%
20歳	20	1.7%	20歳	23	1.9%
21歳	26	2.2%	21歳	31	2.6%
22歳	41	3.4%	22歳	24	2.0%
23歳	21	1.8%	23歳	17	1.4%
24歳	25	2.1%	24歳	24	2.0%
25歳	29	2.4%	25歳	39	3.3%
26歳	33	2.8%	26歳	37	3.1%
27歳	40	3.3%	27歳	32	2.7%
28歳	31	2.6%	28歳	39	3.3%
29歳	42	3.5%	29歳	43	3.6%
30歳	52	4.3%	30歳	49	4.1%
31歳	26	2.2%	31歳	29	2.4%
32歳	37	3.1%	32歳	24	2.0%
33歳	42	3.5%	33歳	48	4.0%
34歳	50	4.2%	34歳	47	3.9%
35歳	44	3.7%	35歳	51	4.3%
36歳	25	2.1%	36歳	47	3.9%
37歳	39	3.3%	37歳	38	3.2%
38歳	43	3.6%	38歳	32	2.7%
39歳	38	3.2%	39歳	44	3.7%
40歳	50	4.2%	40歳	38	3.2%
41歳	37	3.1%	41歳	43	3.6%
42歳	52	4.3%	42歳	39	3.3%
43歳	36	3.0%	43歳	32	2.7%
44歳	33	2.8%	44歳	35	2.9%
45歳	40	3.3%	45歳	46	3.8%
46歳から49歳	67	5.6%	46歳から49歳	58	4.8%
50歳から54歳	71	5.9%	50歳から54歳	65	5.4%
55歳から59歳	38	3.2%	55歳から59歳	46	3.8%
60歳から69歳	19	1.6%	60歳から69歳	20	1.7%
70歳以上	4	0.3%	70歳以上	10	0.8%
答えたくない	16	1.3%	答えたくない	10	0.8%

Q2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
北海道	42	39	81	3.5%	3.3%	3.4%
東北	63	82	145	5.3%	6.8%	6.1%
関東	486	426	912	40.5%	35.5%	38.0%
中部	203	226	429	16.9%	18.8%	17.9%
近畿	234	229	463	19.5%	19.1%	19.3%
中国	53	65	118	4.4%	5.4%	4.9%
四国	26	30	56	2.2%	2.5%	2.4%
九州	83	97	180	6.9%	8.1%	7.5%
沖縄	10	6	16	0.8%	0.5%	0.7%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q3 あなたの職業を教えてください。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
会社役員・団体役員	24	11	35	2.0%	0.9%	1.5%
会社の正社員・団体の正職員	541	272	813	45.1%	22.7%	33.9%
公務員（団体職員や教職員を除く）	53	16	69	4.4%	1.3%	2.9%
教職員	22	13	35	1.8%	1.1%	1.5%
医療、福祉関係の職員等	24	56	80	2.0%	4.7%	3.3%
契約社員・パート・アルバイト等	128	325	453	10.7%	27.1%	18.9%
自営業・専門職（士業等）・自由業	132	52	184	11.0%	4.3%	7.7%
学生	120	97	217	10.0%	8.1%	9.0%
専業主婦・専業主夫	6	222	228	0.5%	18.5%	9.5%
年金生活・無職	124	110	234	10.3%	9.2%	9.8%
その他	26	26	52	2.2%	2.2%	2.2%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q4 あなたの最終学歴を教えてください。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
大学院卒	95	49	144	7.9%	4.1%	6.0%
大卒・短大卒	632	559	1191	52.7%	46.6%	49.6%
専門学校卒	130	160	290	10.8%	13.3%	12.1%
高卒	299	383	682	24.9%	31.9%	28.4%
中卒	31	44	75	2.6%	3.7%	3.1%
その他	13	5	18	1.1%	0.4%	0.8%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q5 昨年の世帯年収（一人暮らしの方は個人の年収）は、おおよそどのくらいでしょうか。最も近いと思われるものを選んでください。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
収入はない	75	96	171	6.3%	8.0%	7.1%
100万円未満	99	151	250	8.3%	12.6%	10.4%
100万円以上300万円未満	187	271	458	15.6%	22.6%	19.1%
300万円以上500万円未満	315	218	533	26.3%	18.2%	22.2%
500万円以上800万円未満	241	149	390	20.1%	12.4%	16.3%
800万円以上1000万円未満	70	48	118	5.8%	4.0%	4.9%
1000万円以上2000万円未満	58	51	109	4.8%	4.3%	4.5%
2000万円以上	11	3	14	0.9%	0.3%	0.6%
答えたくない	144	213	357	12.0%	17.8%	14.9%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q6 あなたは結婚していますか。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
結婚していない（結婚経験なし）	771	639	1410	64.3%	53.3%	58.8%
結婚していない（1回離婚している）	39	56	95	3.3%	4.7%	4.0%
結婚していない（2回以上離婚している）	6	6	12	0.5%	0.5%	0.5%
結婚している（現在初婚）	352	468	820	29.3%	39.0%	34.2%
結婚している（再婚1回目）	21	17	38	1.8%	1.4%	1.6%
結婚している（再婚2回目）	3	2	5	0.3%	0.2%	0.2%
結婚している（再婚3回目以上）	2	3	5	0.2%	0.3%	0.2%
その他	6	9	15	0.5%	0.8%	0.6%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q7 自分は結婚できない、結婚は考えたことがない、結婚したくないと思った時、それはどのような理由からですか。最もあてはまるものを一つ選んでください。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
相手の人生を背負うようで重く思えたり、一人でいるほうが楽に思えたりするから	233	216	449	19.4%	18.0%	18.7%
相手がいないから	356	305	661	29.7%	25.4%	27.5%
独身の時よりも家事などの負担が増すから（男性） / 家事や育児などの負担が女性側に偏るから（女性）	14	47	61	1.2%	3.9%	2.5%
親の介護のために親元を離れられないから	8	16	24	0.7%	1.3%	1.0%
親の介護以外の理由で親元を離れたくない、離れられないから	4	9	13	0.3%	0.8%	0.5%
経済的に苦しくなるから	80	30	110	6.7%	2.5%	4.6%
自分の時間や自由がなくなるから	122	143	265	10.2%	11.9%	11.0%
自分や相手のキャリアに悪影響が出るから	7	11	18	0.6%	0.9%	0.8%
その他	43	65	108	3.6%	5.4%	4.5%
そのようなことは思ったことがない	333	358	691	27.8%	29.8%	28.8%
人数合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q8 現在、あなたは結婚して何年になりますか。（再婚している方は現在の結婚の期間を教えてください）

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
結婚していない	797	692	1489	66.4%	57.7%	62.0%
3年以内	73	79	152	6.1%	6.6%	6.3%
5年以内	55	75	130	4.6%	6.3%	5.4%
10年以内	86	107	193	7.2%	8.9%	8.0%
15年以内	75	68	143	6.3%	5.7%	6.0%
20年以内	37	64	101	3.1%	5.3%	4.2%
25年以内	30	39	69	2.5%	3.3%	2.9%
26年以上	36	62	98	3.0%	5.2%	4.1%
わからない	11	14	25	0.9%	1.2%	1.0%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q9 あなたは今の日本は結婚しやすい国だと思いますか。点数を10点満点でつけるとしたら何点ですか。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
10点	36	19	55	3.0%	1.6%	2.3%
9点	25	26	51	2.1%	2.2%	2.1%
8点	99	97	196	8.3%	8.1%	8.2%
7点	168	158	326	14.0%	13.2%	13.6%
6点	130	136	266	10.8%	11.3%	11.1%
5点	193	241	434	16.1%	20.1%	18.1%
4点以下	361	322	683	30.1%	26.8%	28.5%
0点	70	60	130	5.8%	5.0%	5.4%
わからない	118	141	259	9.8%	11.8%	10.8%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q10 あなたは、子どもがいますか。(元の配偶者との間に子どもがいる場合はその人数も加えてください)

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
いない	869	808	1677	72.4%	67.3%	69.9%
1人いる	157	154	311	13.1%	12.8%	13.0%
2人いる	140	179	319	11.7%	14.9%	13.3%
3人いる	24	45	69	2.0%	3.8%	2.9%
4人いる	9	10	19	0.8%	0.8%	0.8%
5人以上いる	1	4	5	0.1%	0.3%	0.2%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q11 わが国では20年以上少子化対策が実施されていますが、2022年の出生数は1899年に統計を取り始めてから初めて80万人を下回ると推計されています。1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標となる「合計特殊出生率」は2021年は1.30で、前の年を0.03ポイント下回りました。あなたは少子化が続くことは日本の社会にとって問題があると思いますか。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
問題だと思う	974	944	1918	81.2%	78.7%	79.9%
問題だと思わない	120	108	228	10.0%	9.0%	9.5%
わからない	106	148	254	8.8%	12.3%	10.6%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q12 あなたは今後、子どもを持とうと思いますか。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
現在未婚単身で、将来、単身のままでも結婚しても子どもを持とうとは思わない	312	290	602	26.0%	24.2%	25.1%
現在未婚単身で、単身のままでも子どもを持ちたいと思う	35	29	64	2.9%	2.4%	2.7%
現在未婚単身で、結婚するなら子どもを持ちたいと思う	251	177	428	20.9%	14.8%	17.8%
現在未婚単身で、子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	99	101	200	8.3%	8.4%	8.3%
現在既婚で子どもはいないが、持とうと思わない	35	75	110	2.9%	6.3%	4.6%
現在既婚で子どもはいないが、持ちたいと思う	42	59	101	3.5%	4.9%	4.2%
現在既婚で子どもがいるが、これ以上持とうとは思わない	167	211	378	13.9%	17.6%	15.8%
現在既婚で子どもがいるが、もっと持ちたいと思う	55	48	103	4.6%	4.0%	4.3%
現在既婚で子どもがいるが、もっと子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	53	74	127	4.4%	6.2%	5.3%
わからない	151	136	287	12.6%	11.3%	12.0%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q13 あなたが子どもを持つことをためらう理由として考えられることを教えてください。（複数回答可）						
18歳から45歳	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
いまの社会に不安があるので、子どもに同じような不安を感じさせることは気の毒だと思うから	342	330	672	34.2%	33.0%	33.6%
塾などの教育費その他でお金がかかり、経済的に不安があるから	386	408	794	38.6%	40.8%	39.7%
自分の時間やお金を自由に使えることが嫌だから	231	238	469	23.1%	23.8%	23.5%
自分自身の健康や体力に不安があるから	153	323	476	15.3%	32.3%	23.8%
配偶者と過ごす時間を楽しみたいから	48	79	127	4.8%	7.9%	6.4%
子どもを育てる責任は重すぎるから	200	299	499	20.0%	29.9%	25.0%
配偶者が家事や育児を協力してくれるとは思えないから	17	86	103	1.7%	8.6%	5.2%
自分は子育てに向いているとは思えないから	186	311	497	18.6%	31.1%	24.9%
仕事に専念できずキャリアに影響があるから	32	57	89	3.2%	5.7%	4.5%
その他、特にためらっていない	235	184	419	23.5%	18.4%	21.0%
Q13 あなた、もしくはまわりが子どもを持たない理由として考えられることは、次のどれだと思いますか。（複数回答可）						
46歳以上	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
結婚して子どもを持ちたかったが結婚できなかった	52	55	107	5.2%	5.5%	10.7%
妊娠の挑戦をしたけれど恵まれず、あきらめざるを得なかった	33	59	92	3.3%	5.9%	9.2%
経済的理由により、あきらめざるを得なかった	65	43	108	6.5%	4.3%	10.8%
結婚せず子どもだけが欲しかったが、世の中の風潮が許してくれなかった	7	2	9	0.7%	0.2%	0.9%
子どもができることを自然に任せていたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	12	37	49	1.2%	3.7%	4.9%
仕事や趣味に打ち込んでいたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	18	37	55	1.8%	3.7%	5.5%
配偶者やパートナーが出産適齢期を超えるとわかっていても不妊治療などはしなかった、もしくはできなかった	7	18	25	0.7%	1.8%	2.5%
配偶者やパートナーが子どもを望んでいなかった	31	16	47	3.1%	1.6%	4.7%
そもそも子どもを持ちたいとは思わなかった	58	56	114	5.8%	5.6%	11.4%
その他	17	14	31	1.7%	1.4%	3.1%
自分もまわりも子どもがいる	31	36	67	3.1%	3.6%	6.7%

Q14 子どもを育てるには世帯年収がどのくらい必要だと、あなたは考えますか。						
	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
年収は特に関係ない	108	102	210	9.0%	8.5%	8.8%
300万円以上400万円未満	49	45	94	4.1%	3.8%	3.9%
400万円以上500万円未満	135	120	255	11.3%	10.0%	10.6%
500万円以上600万円未満	254	203	457	21.2%	16.9%	19.0%
600万円以上700万円未満	181	166	347	15.1%	13.8%	14.5%
700万円以上1000万円未満	196	212	408	16.3%	17.7%	17.0%
1000万円以上	152	144	296	12.7%	12.0%	12.3%
わからない	125	208	333	10.4%	17.3%	13.9%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q15 若い世代が安心して結婚し子育てができるようにするためには、あなたは何かが必要だと思いますか（複数回答可）

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
結婚や子育て支援のための給付	688	667	1355	68.8%	66.7%	67.8%
安定して賃金を得られるための支援	717	750	1467	71.7%	75.0%	73.4%
共働きでも安心して子どもを預けることができる仕組み作り	594	741	1335	59.4%	74.1%	66.8%
育児のために仕事を辞めた場合にもキャリアに悪影響なく再就職できる仕組みや風潮	403	548	951	40.3%	54.8%	47.6%
男性ももっと育児に関われることが可能となる仕組みや風潮	409	561	970	40.9%	56.1%	48.5%
育児のための育休・時短とそれを取りやすい風潮	440	593	1033	44.0%	59.3%	51.7%
親の介護を心配することなく育児に専念できるよう介護の充実	281	366	647	28.1%	36.6%	32.4%
子どもの医療費助成の充実	374	478	852	37.4%	47.8%	42.6%
住宅に関する支援	316	351	667	31.6%	35.1%	33.4%
その他	91	81	172	9.1%	8.1%	8.6%

Q16 子どもがいる、もしくは子どもを持ちたいと考えている方に質問です。配偶者の育児と仕事のバランスについてどれが一番理想ですか。

	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
配偶者は子育てに専念してほしい（男性） / 子育てに専念したい（女性）	143	190	333	11.9%	15.8%	13.9%
職場の制度として許される範囲の期間まで仕事を（男性）休んでほしい / （女性）休みたい	197	146	343	16.4%	12.2%	14.3%
再度仕事に戻れる方法があるのであれば、職場の制度として許される範囲の期間を超えて（男性）仕事を休んでほしい / （女性）仕事を休みたい	143	125	268	11.9%	10.4%	11.2%
子どもの手が離れるまでは仕事はせず、そのためにいったん仕事を辞めるざるを得ない場合には（男性）再就職してほしい / （女性）再就職したい	82	107	189	6.8%	8.9%	7.9%
子どもが小さいうちでも、緩やかに（男性）仕事をしてほしい / （女性）仕事をしたい	152	187	339	12.7%	15.6%	14.1%
できる限り子どもを持つ前と同様に（男性）仕事をしてほしい / （女性）仕事をしたい	85	52	137	7.1%	4.3%	5.7%
育休制度を利用するので、配偶者には働いてほしい（男性） / 配偶者に育休制度を利用してもらって、自分が仕事をしたい（女性）	31	7	38	2.6%	0.6%	1.6%
その他	60	32	92	5.0%	2.7%	3.8%
子どもはいないし持ちたいと思わない	307	354	661	25.6%	29.5%	27.5%
人数合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q17 育児休業について定めている「育児・介護休業法」が改正され、令和4年10月1日から育休とは別に、「産後パパ育休」として子が生まれて8週間以内に2回取得でき、さらに「産後パパ育休」を2回取得した後も通常の育児休業を取得できるようになりました。今後あなたに子どもが生まれた際に、（男性）現実にこの制度を利用したいと思いますか / （女性）あなたの配偶者は現実にこの制度を利用すると思いますか。

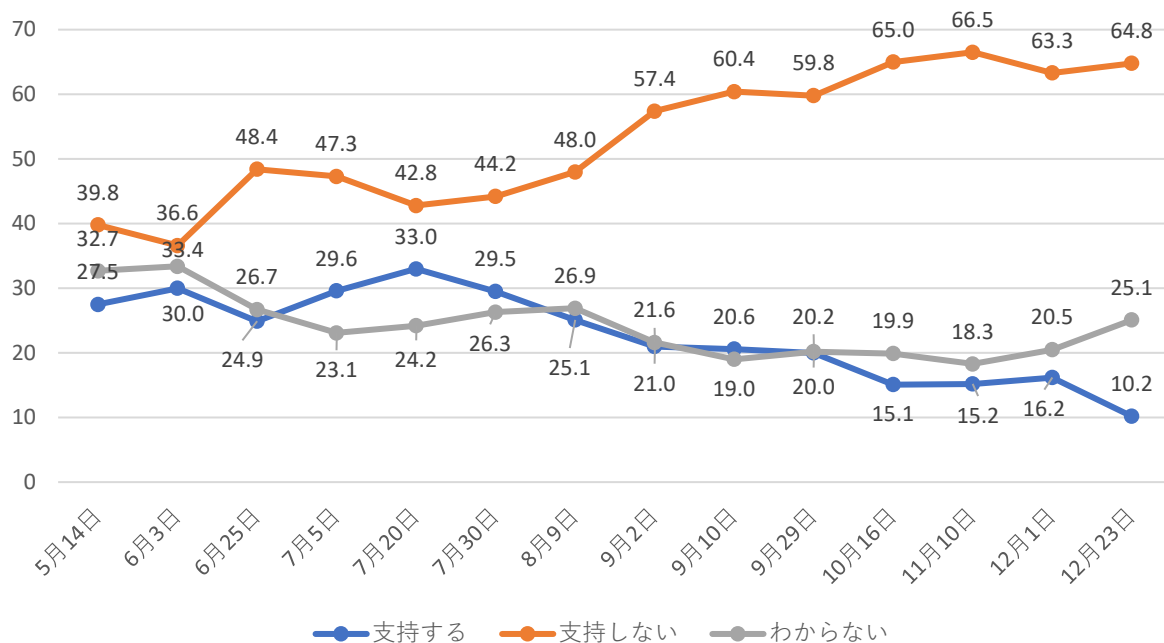
	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
18歳から45歳						
利用したいと思う（男性） / 利用すると思う（女性）	525	343	868	52.5%	34.3%	43.4%
職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う（男性） / 配偶者の職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う（女性）	102	104	206	10.2%	10.4%	10.3%
職場で理解を得られそうにないから、利用しないと思う（男性） / 配偶者の職場で理解を得られそうにないから、利用できないと思う（女性）	104	107	211	10.4%	10.7%	10.6%
一時的であっても、自らの仕事を他人にとられたくない、他人に迷惑をかけたくない等の事情により（男性）仕事を離れたくないから、利用しないと思う / 配偶者が仕事を離れたがらないから、利用しないと思う（女性）	53	54	107	5.3%	5.4%	5.4%
のちのちのキャリアに悪影響がありそうだから、利用しないと思う（男性） / 配偶者がのちのちのキャリアに悪影響があることを懸念し、利用しないと思う（女性）	36	76	112	3.6%	7.6%	5.6%
制度の詳細が分からないので取り方が分からないから、利用しないと思う	39	70	109	3.9%	7.0%	5.5%
保育園や幼稚園に入園しやすいタイミングのことを考えると、長く育児休業を取ることによって入園しづらくなることが懸念されるから、利用しないと思う	18	21	39	1.8%	2.1%	2.0%
男性が育児をすることを（男性）配偶者が望んでいないから / （女性）自分が望まないから、利用しないと思う	35	48	83	3.5%	4.8%	4.2%
その他	88	177	265	8.8%	17.7%	13.3%
人数合計	1000	1000	2000	100.0%	100.0%	100.0%
46歳以上						
利用したいと思う	54	実施せず	5.4%			
職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う	15		1.5%			
職場で理解を得られそうにないから、利用しないと思う	9		0.9%			
一時的であっても、自らの仕事を他人にとられたくない、他人に迷惑をかけたくない等の事情により仕事を離れたくないから、利用しないと思う	12		1.2%			
のちのちのキャリアに悪影響がありそうだから、利用しないと思う	2		0.2%			
制度の詳細が分からないので取り方が分からないから、利用しないと思う	9		0.9%			
保育園や幼稚園に入園しやすいタイミングのことを考えると、長く育児休業を取ることによって入園しづらくなることが懸念されるから、利用しないと思う	2		0.2%			
男性が育児をすることを配偶者が望んでいないから、利用しないと思う	3		0.3%			
その他	13		1.3%			
今後、子どもを持つつもりはない	81		8.1%			
人数合計	200		100.0%			

Q18 わが国で少子化が継続するとどのような悪影響があると、あなたは思いますか（複数回答可）						
	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
人口ピラミッドが逆三角形になって生産年齢人口や税金の負担者が減り、国家財政や社会保障が立ち行かなくなる	827	870	1697	82.7%	87.0%	84.9%
人口減で国内の消費量が落ちるとマーケットも縮小し、日本の魅力や競争力が低下する	603	434	1037	60.3%	43.4%	51.9%
農業や工業等に携わる人口が減り、現在のような豊かな供給が維持されなくなる	443	485	928	44.3%	48.5%	46.4%
地域の子どもの数が減少すると、地域の活力を削がれる	408	346	754	40.8%	34.6%	37.7%
外国人労働者を頼らざるを得なくなり、移民が増える	384	377	761	38.4%	37.7%	38.1%
少子化によって悪影響があるとしても一時的なものに過ぎず、課題として取り組む必要性は低い	73	61	134	7.3%	6.1%	6.7%
少子化の結果、悪影響もあるかもしれないが、何が起きるのかは分からないので念のため備えが必要だ	130	171	301	13.0%	17.1%	15.1%
特に悪影響があるとは思わない	58	40	98	5.8%	4.0%	4.9%
わからない	65	95	160	6.5%	9.5%	8.0%

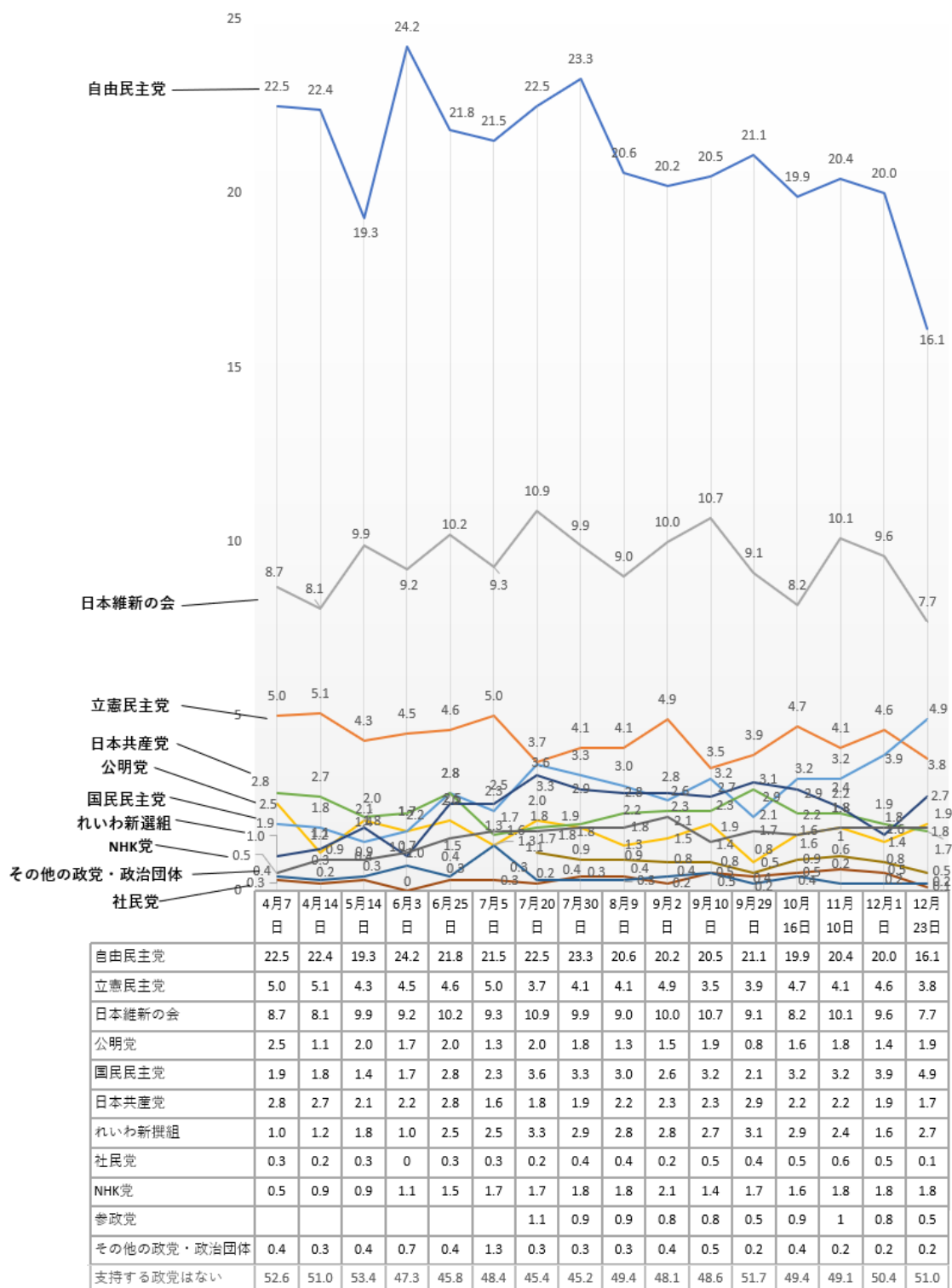
Q19 少子化対策のための政策に点数を10点満点で付けるとすると、あなたは何点だと思いますか。						
性別	人数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
10点	14	4	18	1.2%	0.3%	0.8%
9点	9	8	17	0.8%	0.7%	0.7%
8点	36	22	58	3.0%	1.8%	2.4%
7点	50	53	103	4.2%	4.4%	4.3%
6点	110	114	224	9.2%	9.5%	9.3%
5点	218	180	398	18.2%	15.0%	16.6%
4点以下	494	510	1004	41.2%	42.5%	41.8%
0点	174	152	326	14.5%	12.7%	13.6%
わからない	95	157	252	7.9%	13.1%	10.5%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q20 あなたが重要だと思う国の政策課題を1つ選んでください。						
	人数			割合		
性別	男性	女性	合計	男性	女性	合計
新型コロナ対策	51	63	114	4.3%	5.3%	4.8%
物価高対策	231	323	554	19.3%	26.4%	23.1%
景気や雇用	445	357	802	37.1%	30.0%	33.4%
年金や医療、介護など社会保障	110	164	274	9.2%	13.8%	11.4%
少子化対策や子育て政策	189	163	352	15.8%	13.7%	14.7%
環境や気候変動、エネルギー政策	45	36	81	3.8%	3.0%	3.4%
外交や安全保障	66	40	106	5.5%	3.4%	4.4%
憲法改正	19	16	35	1.6%	1.3%	1.5%
地域活性化	13	6	19	1.1%	0.5%	0.8%
その他	31	32	63	2.6%	2.7%	2.6%
合計	1200	1200	2400	100.0%	100.0%	100.0%

Q21 あなたは岸田内閣を支持しますか (%)



Q22 あなたの支持政党を教えてください。(%)



調査結果グラフ（男性）

※Q1（年齢別の人数や割合）は3ページをご覧ください

男性								
Q2 あなたのお住まいの地域を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
北海道	5	1	8	9	14	5	42	3.5%
東北	7	16	7	10	13	10	63	5.3%
関東	77	86	80	74	73	96	486	40.5%
中部	40	35	28	37	23	40	203	16.9%
近畿	42	39	41	48	35	29	234	19.5%
中国	8	6	12	8	12	7	53	4.4%
四国	10	5	3	2	6	0	26	2.2%
九州	9	12	19	11	21	11	83	6.9%
沖縄	2	0	2	1	3	2	10	0.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q3 あなたの職業を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
会社役員・団体役員	3	3	1	4	5	8	24	2.0%
会社の正社員・団体の正職員	46	108	108	99	93	87	541	45.1%
公務員（団体職員や教職員を除く）	7	6	14	10	11	5	53	4.4%
教職員	1	4	9	1	5	2	22	1.8%
医療、福祉関係の職員等	0	11	4	4	2	3	24	2.0%
契約社員・パート・アルバイト等	14	23	23	26	21	21	128	10.7%
自営業・専門職（士業等）・自由業	1	15	18	25	32	41	132	11.0%
学生	113	7	0	0	0	0	120	10.0%
専業主婦・専業主夫	0	2	0	2	0	2	6	0.5%
年金生活・無職	9	18	21	22	27	27	124	10.3%
その他	6	3	2	7	4	4	26	2.2%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q4 あなたの最終学歴を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
大学院卒	12	16	27	11	14	15	95	7.9%
大卒・短大卒	77	122	101	104	114	114	632	52.7%
専門学校卒	11	12	25	30	31	21	130	10.8%
高卒	89	43	38	46	37	46	299	24.9%
中卒	6	6	9	4	3	3	31	2.6%
その他	5	1	0	5	1	1	13	1.1%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q5 昨年の世帯年収（一人暮らしの方は個人の年収）は、おおよそどのくらいでしょうか。最も近いと思われるものを選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
収入はない	34	8	10	8	11	4	75	6.3%
100万円未満	36	16	8	15	12	12	99	8.3%
100万円以上300万円未満	25	35	34	27	29	37	187	15.6%
300万円以上500万円未満	35	74	60	58	51	37	315	26.3%
500万円以上800万円未満	13	38	56	46	41	47	241	20.1%
800万円以上1000万円未満	7	4	11	17	17	14	70	5.8%
1000万円以上2000万円未満	13	5	9	5	12	14	58	4.8%
2000万円以上	3	1	1	2	2	2	11	0.9%
答えたくない	34	19	11	22	25	33	144	12.0%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q6 あなたは結婚していますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚していない（結婚経験なし）	194	151	110	116	112	88	771	64.3%
結婚していない（1回離婚している）	1	3	4	11	10	10	39	3.3%
結婚していない（2回以上離婚している）	1	1	2	2	0	0	6	0.5%
結婚している（現在初婚）	2	41	83	63	68	95	352	29.3%
結婚している（再婚1回目）	1	1	0	6	7	6	21	1.8%
結婚している（再婚2回目）	0	1	0	0	2	0	3	0.3%
結婚している（再婚3回目以上）	0	0	0	1	0	1	2	0.2%
その他	1	2	1	1	1	0	6	0.5%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q7 自分は結婚できない、結婚は考えたことがない、結婚したくないと思った時、それはどのような理由からですか。最もあてはまるものを一つ選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
相手の人生を背負うようで重く思えたり、一人でのほうが楽に思えたりするから	37	38	32	46	42	38	233	19.4%
相手がいないから	65	71	65	51	49	55	356	29.7%
独身の時よりも家事などの負担が増すから	2	4	3	2	2	1	14	1.2%
親の介護のために親元を離れられないから	0	2	1	1	3	1	8	0.7%
親の介護以外の理由で親元を離れたくない、離れられないから	2	1	0	1	0	0	4	0.3%
経済的に苦しくなるから	15	19	15	13	9	9	80	6.7%
自分の時間や自由がなくなるから	21	23	19	24	23	12	122	10.2%
自分や相手のキャリアに悪影響が出るから	1	1	0	2	2	1	7	0.6%
その他	6	4	8	9	7	9	43	3.6%
そのようなことは思ったことがない	51	37	57	51	63	74	333	27.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q8 現在、あなたは結婚して何年になりますか。（再婚している方は現在の結婚の期間を教えてください）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚していない	192	149	113	126	121	96	797	66.4%
3年以内	2	32	24	11	3	1	73	6.1%
5年以内	3	14	17	13	6	2	55	4.6%
10年以内	0	2	38	20	17	9	86	7.2%
15年以内	0	2	7	24	29	13	75	6.3%
20年以内	0	1	1	4	15	16	37	3.1%
25年以内	0	0	0	0	4	26	30	2.5%
26年以上	0	0	0	0	2	34	36	3.0%
わからない	3	0	0	2	3	3	11	0.9%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q9 あなたは今の日本は結婚しやすい国だと思いますか。点数を10点満点でつけるとしたら何点ですか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
10点	8	3	4	7	3	11	36	3.0%
9点	4	6	6	2	2	5	25	2.1%
8点	15	9	24	13	19	19	99	8.3%
7点	33	24	35	24	28	24	168	14.0%
6点	23	20	18	19	24	26	130	10.8%
5点	32	33	27	37	34	30	193	16.1%
4点以下	56	71	59	67	54	54	361	30.1%
0点	16	16	8	12	11	7	70	5.8%
わからない	13	18	19	19	25	24	118	9.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q10 あなたは、子どもがいますか。（元の配偶者との間に子どもがいる場合はその人数も加えてください）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
いない	195	171	135	133	129	106	869	72.4%
1人いる	4	21	36	27	33	36	157	13.1%
2人いる	0	7	20	30	34	49	140	11.7%
3人いる	1	1	7	7	1	7	24	2.0%
4人いる	0	0	2	2	3	2	9	0.8%
5人以上いる	0	0	0	1	0	0	1	0.1%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q11 わが国では20年以上少子化対策が実施されていますが、2022年の出生数は1899年に統計を取り始めてから初めて80万人を下回ると推計されています。1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標となる「合計特殊出生率」は2021年は1.30で、前の年を0.03ポイント下回りました。あなたは少子化が続くことは日本の社会にとって問題があると思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
問題だと思う	165	160	159	163	164	163	974	81.2%
問題だと思わない	15	21	29	24	17	14	120	10.0%
わからない	20	19	12	13	19	23	106	8.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q12 あなたは今後、子どもを持つと思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
現在未婚単身で、将来、単身のままでも結婚しても子どもを持つとは思わない	47	54	49	53	57	52	312	26.0%
現在未婚単身で、単身のままでも子どもを持ちたいと思う	6	10	4	6	4	5	35	2.9%
現在未婚単身で、結婚するなら子どもを持ちたいと思う	98	49	30	35	28	11	251	20.9%
現在未婚単身で、子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	16	23	16	19	13	12	99	8.3%
現在既婚で子どもはいないが、持つとは思わない	1	3	6	6	5	14	35	2.9%
現在既婚で子どもはいないが、持ちたいと思う	1	15	13	7	5	1	42	3.5%
現在既婚で子どもがいるが、これ以上持つとは思わない	0	8	25	30	45	59	167	13.9%
現在既婚で子どもがいるが、もっと持ちたいと思う	1	8	20	16	5	5	55	4.6%
現在既婚で子どもがいるが、もっと子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	0	6	12	8	13	14	53	4.4%
わからない	30	24	25	20	25	27	151	12.6%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性							
Q13 あなたが子どもを持つことをためらう理由として考えられることを教えてください。（複数回答可）							
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	人数合計	割合
いまの社会に不安があるので、子どもに同じような不安を感じさせることは気の毒だと思うから	55	74	73	68	72	342	34.2%
塾などの教育費その他でお金がかかり、経済的に不安があるから	70	78	88	80	70	386	38.6%
自分の時間やお金を自由に使えることが嫌だから	53	48	51	45	34	231	23.1%
自分自身の健康や体力に不安があるから	19	28	33	36	37	153	15.3%
配偶者と過ごす時間を楽しみたいから	11	11	13	6	7	48	4.8%
子どもを育てる責任は重すぎるから	40	41	46	36	37	200	20.0%
配偶者が家事や育児を協力してくれるとは思えないから	3	3	3	4	4	17	1.7%
自分は子育てに向いているとは思えないから	36	43	39	38	30	186	18.6%
仕事に専念できずキャリアに影響があるから	11	7	6	6	2	32	3.2%
その他、特にためらっていない	66	32	41	46	50	235	23.5%
Q13 あなた、もしくはまわりが子どもを持たない理由として考えられることは、次のどれだと思いますか。（複数回答可）							
年齢	46以上	割合					
結婚して子どもを持ちたかったが結婚できなかった	52	5.2%					
妊娠の挑戦をしたけれど恵まれず、あきらめざるを得なかった	33	3.3%					
経済的理由により、あきらめざるを得なかった	65	6.5%					
結婚せず子どもだけが欲しかったが、世の中の風潮が許しなかった	7	0.7%					
子どもができることを自然に任せていたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	12	1.2%					
仕事や趣味に打ち込んでいたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	18	1.8%					
配偶者やパートナーが出産適齢期を超えるとわかっていても不妊治療などはしなかった、もしくはできなかった	7	0.7%					
配偶者やパートナーが子どもを望んでいなかった	31	3.1%					
そもそも子どもを持ちたいとは思わなかった	58	5.8%					
その他	17	1.7%					
自分もまわりも子どもがいる	31	3.1%					

男性								
Q14 子どもを育てるには世帯年収がどのくらい必要だと、あなたは考えますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
年収は特に関係ない	20	14	21	15	17	21	108	9.0%
300万円以上400万円未満	7	6	11	7	13	5	49	4.1%
400万円以上500万円未満	18	23	24	19	23	28	135	11.3%
500万円以上600万円未満	48	39	49	44	30	44	254	21.2%
600万円以上700万円未満	31	29	28	31	30	32	181	15.1%
700万円以上1000万円未満	30	38	31	35	37	25	196	16.3%
1000万円以上	22	34	24	33	22	17	152	12.7%
わからない	24	17	12	16	28	28	125	10.4%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q15 若い世代が安心して結婚し子育てができるようにするためには、あなたは何かが必要だと思いますか（複数回答可）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚や子育て支援のための給付	125	116	118	127	103	99	688	68.8%
安定して賃金を得られるための支援	117	120	119	132	125	104	717	71.7%
共働きでも安心して子どもを預けることができる仕組み作り	101	95	93	110	94	101	594	59.4%
育児のために仕事を辞めた場合にもキャリアに悪影響なく再就職できる仕組みや風潮	77	77	66	71	58	54	403	40.3%
男性ももっと育児に関われることが可能となる仕組みや風潮	77	76	68	79	57	52	409	40.9%
育児のための育休・時短とそれを取りやすい風潮	86	76	72	85	59	62	440	44.0%
親の介護を心配することなく育児に専念できるよう介護の充実	40	47	50	50	49	45	281	28.1%
子どもの医療費助成の充実	67	62	65	65	55	60	374	37.4%
住宅に関する支援	44	61	71	61	37	42	316	31.6%
その他	12	10	12	12	27	18	91	9.1%

男性								
Q16 子どもがいる、もしくは子どもを持ちたいと考えている方に質問です。配偶者の育児と仕事のバランスについてどれが一番理想ですか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
配偶者は子育てに専念してほしい	22	17	22	35	24	23	143	11.9%
職場の制度として許される範囲の期間まで仕事を休んでほしい	39	39	37	33	22	27	197	16.4%
再度仕事に戻れる方法があるのであれば、職場の制度として許される範囲の期間を超えて仕事を休んでほしい	22	31	23	18	24	25	143	11.9%
子どもの手が離れるまでは仕事はせず、そのためにいったん仕事を辞めるざるを得ない場合には再就職してほしい	16	10	16	7	12	21	82	6.8%
子どもが小さいうちでも、緩やかに仕事をしてほしい	25	26	28	23	32	18	152	12.7%
できる限り子どもを持つ前と同様に仕事をしてほしい	18	12	14	12	21	8	85	7.1%
育休制度を利用するので、配偶者には働いてほしい	7	7	5	3	2	7	31	2.6%
その他	8	10	5	11	12	14	60	5.0%
子どもはいないし持ちたいと思わない	43	48	50	58	51	57	307	25.6%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性							
Q17 育児休業について定めている「育児・介護休業法」が改正され、令和4年10月1日から育休とは別に、「産後パパ育休」として子が生まれて8週間以内に2回取得でき、さらに「産後パパ育休」を2回取得した後も通常の育児休業を取得できるようになりました。今後あなたに子どもが生まれた際に、現実にこの制度を利用したいと思いますか。							
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	人数合計	割合
利用したいと思う	130	108	93	102	92	525	52.5%
職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う	15	25	24	22	16	102	10.2%
職場で理解を得られそうにないから、利用しないと思う	11	19	24	24	26	104	10.4%
一時的であっても、自らの仕事を他人にとられたくない、他人に迷惑をかけたくない等の事情により仕事を離れたくないから、利用しないと思う	10	12	9	10	12	53	5.3%
のちのちのキャリアに悪影響がありそうだから、利用しないと思う	7	11	8	7	3	36	3.6%
制度の詳細が分からないので取り方が分からないから、利用しないと思う	9	7	9	7	7	39	3.9%
保育園や幼稚園に入園しやすいタイミングのことを考えると、長く育児休業を取ることによって入園しづらくなることが懸念されるから、利用しないと思う	3	1	5	3	6	18	1.8%
男性が育児をすることを配偶者が望んでいないから、利用しないと思う	7	4	10	4	10	35	3.5%
その他	8	13	18	21	28	88	8.8%
人数合計	200	200	200	200	200	1000	100.0%
年齢	46以上	割合					
利用したいと思う	54	5.4%					
職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う	15	1.5%					
職場で理解を得られそうにないから、利用しないと思う	9	0.9%					
一時的であっても、自らの仕事を他人にとられたくない、他人に迷惑をかけたくない等の事情により仕事を離れたくないから、利用しないと思う	12	1.2%					
のちのちのキャリアに悪影響がありそうだから、利用しないと思う	2	0.2%					
制度の詳細が分からないので取り方が分からないから、利用しないと思う	9	0.9%					
保育園や幼稚園に入園しやすいタイミングのことを考えると、長く育児休業を取ることによって入園しづらくなることが懸念されるから、利用しないと思う	2	0.2%					
男性が育児をすることを配偶者が望んでいないから、利用しないと思う	3	0.3%					
その他	13	1.3%					
今後、子どもを持つつもりはない	81	8.1%					
人数合計	200	20.0%					

男性								
Q18 わが国で少子化が継続するとどのような悪影響があると、あなたは思いますか（複数回答可）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
人口ピラミッドが逆三角形になって生産年齢人口や税金の負担者が減り、国家財政や社会保障が立ち行かなくなる	142	131	129	146	138	141	827	82.7%
人口減で国内の消費量が落ちるとマーケットも縮小し、日本の魅力や競争力が低下する	91	109	95	111	98	99	603	60.3%
農業や工業等に携わる人口が減り、現在のような豊かな供給が維持されなくなる	74	70	85	76	70	68	443	44.3%
地域の子どもの数が減少すると、地域の活力を削がれる	71	68	69	76	63	61	408	40.8%
外国人労働者を頼らざるを得なくなり、移民が増える	59	65	64	64	72	60	384	38.4%
少子化によって悪影響があるとしても一時的なものに過ぎず、課題として取り組む必要性は低い	14	20	12	9	10	8	73	7.3%
少子化の結果、悪影響もあるかもしれない、何が起きるのかは分からないので念のため備えが必要だ	23	30	20	18	20	19	130	13.0%
特に悪影響があるとは思わない	10	7	11	9	11	10	58	5.8%
わからない	12	7	13	8	14	11	65	6.5%

男性								
Q19 少子化対策のための政策に点数を10点満点で付けるとすると、あなたは何点だと思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
10点	2	2	3	4	1	2	14	1.2%
9点	1	4	1	2	0	1	9	0.8%
8点	7	5	10	8	4	2	36	3.0%
7点	5	8	15	5	10	7	50	4.2%
6点	18	21	15	14	13	29	110	9.2%
5点	41	35	36	37	35	34	218	18.2%
4点以下	77	80	76	86	87	88	494	41.2%
0点	30	31	28	32	29	24	174	14.5%
わからない	19	14	16	12	21	13	95	7.9%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q20 あなたが重要だと思う国の政策課題を1つ選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
新型コロナ対策	6	15	10	5	9	6	51	4.3%
物価高対策	41	35	45	43	31	36	231	19.3%
景気や雇用	66	69	68	86	84	72	445	37.1%
年金や医療、介護など社会保障	14	23	13	13	25	22	110	9.2%
少子化対策や子育て政策	40	32	45	24	29	19	189	15.8%
環境や気候変動、エネルギー政策	10	5	7	5	4	14	45	3.8%
外交や安全保障	9	11	6	12	8	20	66	5.5%
憲法改正	6	1	1	4	4	3	19	1.6%
地域活性化	3	4	0	2	3	1	13	1.1%
その他	5	5	5	6	3	7	31	2.6%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q21 あなたは岸田内閣を支持しますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
支持する	33	28	21	19	25	32	158	13.2%
支持しない	125	140	147	142	140	130	824	68.7%
わからない	42	32	32	39	35	38	218	18.2%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

男性								
Q22 あなたの支持政党を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
自由民主党	37	38	39	45	47	57	263	21.9%
立憲民主党	15	7	5	5	10	12	54	4.5%
日本維新の会	23	10	16	20	20	30	119	9.9%
公明党	3	5	7	3	1	2	21	1.8%
国民民主党	12	20	20	14	8	7	81	6.8%
日本共産党	4	5	1	3	4	3	20	1.7%
れいわ新撰組	9	9	5	10	4	4	41	3.4%
社民党	0	0	0	0	2	1	3	0.3%
NHK党	3	7	9	3	6	6	34	2.8%
参政党	3	2	2	2	1	2	12	1.0%
その他の政党・政治団体	0	0	0	0	2	0	2	0.2%
支持する政党はない	76	85	92	90	89	75	507	42.3%
わからない	15	12	4	5	6	1	43	3.6%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

調査結果グラフ（女性）

※Q1（年齢別の人数や割合）は3ページをご覧ください

女性								
Q2 あなたのお住まいの地域を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
北海道	9	7	6	8	6	3	39	3.3%
東北	11	14	20	11	10	16	82	6.8%
関東	64	63	85	69	74	71	426	35.5%
中部	40	38	28	43	42	35	226	18.8%
近畿	42	35	27	42	38	45	229	19.1%
中国	14	12	10	11	9	9	65	5.4%
四国	3	5	12	4	3	3	30	2.5%
九州	16	25	11	10	17	18	97	8.1%
沖縄	1	1	1	2	1	0	6	0.5%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q3 あなたの職業を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
会社役員・団体役員	5	1	1	3	1	0	11	0.9%
会社の正社員・団体の正職員	39	68	50	40	41	34	272	22.7%
公務員（団体職員や教職員を除く）	5	3	5	1	1	1	16	1.3%
教職員	0	4	1	4	2	2	13	1.1%
医療・福祉関係の職員等	5	15	12	11	9	4	56	4.7%
契約社員・パート・アルバイト等	29	45	61	62	73	55	325	27.1%
自営業・専門職（士業等）・自由業	4	7	8	8	11	14	52	4.3%
学生	93	3	1	0	0	0	97	8.1%
専業主婦・専業主夫	7	33	37	43	37	65	222	18.5%
年金生活・無職	11	17	19	21	21	21	110	9.2%
その他	2	4	5	7	4	4	26	2.2%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q4 あなたの最終学歴を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
大学院卒	7	4	11	11	11	5	49	4.1%
大卒・短大卒	69	101	97	86	89	117	559	46.6%
専門学校卒	20	27	31	29	31	22	160	13.3%
高卒	87	59	59	64	62	52	383	31.9%
中卒	15	8	2	10	5	4	44	3.7%
その他	2	1	0	0	2	0	5	0.4%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q5 昨年の世帯年収（一人暮らしの方は個人の年収）は、おおよそどのくらいでしょうか。最も近いと思われるものを選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
収入はない	25	17	10	16	14	14	96	8.0%
100万円未満	41	18	28	17	23	24	151	12.6%
100万円以上300万円未満	41	48	36	44	58	44	271	22.6%
300万円以上500万円未満	33	40	47	32	29	37	218	18.2%
500万円以上800万円未満	15	27	30	33	22	22	149	12.4%
800万円以上1000万円未満	2	4	9	12	11	10	48	4.0%
1000万円以上2000万円未満	9	5	9	13	7	8	51	4.3%
2000万円以上	1	1	0	0	0	1	3	0.3%
答えたくない	33	40	31	33	36	40	213	17.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q6 あなたは結婚していますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚していない（結婚経験なし）	183	127	101	90	84	54	639	53.3%
結婚していない（1回離婚している）	0	4	8	9	14	21	56	4.7%
結婚していない（2回以上離婚している）	0	0	1	1	3	1	6	0.5%
結婚している（現在初婚）	17	67	87	93	87	117	468	39.0%
結婚している（再婚1回目）	0	1	3	6	6	1	17	1.4%
結婚している（再婚2回目）	0	1	0	0	1	0	2	0.2%
結婚している（再婚3回目以上）	0	0	0	1	1	1	3	0.3%
その他	0	0	0	0	4	5	9	0.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q7 自分は結婚できない、結婚は考えたことがない、結婚したくないと思った時、それはどのような理由からですか。最もあてはまるものを一つ選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
相手の人生を背負うようで重く思えたり、一人でのほうが楽に思えたりするから	39	32	42	35	36	32	216	18.0%
相手がいないから	55	58	46	52	58	36	305	25.4%
家事や育児などの負担が女性側に偏るから	9	8	7	7	7	9	47	3.9%
親の介護のために親元を離れられないから	1	3	0	5	1	6	16	1.3%
親の介護以外の理由で親元を離れたくない、離れられないから	0	1	3	4	1	0	9	0.8%
経済的に苦しくなるから	8	7	7	5	2	1	30	2.5%
自分の時間や自由がなくなるから	28	26	22	20	25	22	143	11.9%
自分や相手のキャリアに悪影響が出るから	4	0	0	1	5	1	11	0.9%
その他	5	9	9	16	14	12	65	5.4%
そのようなことは思ったことがない	51	56	64	55	51	81	358	29.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q8 現在、あなたは結婚して何年になりますか。（再婚している方は現在の結婚の期間を教えてください）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚していない	180	130	107	98	99	78	692	57.7%
3年以内	14	31	16	10	8	0	79	6.6%
5年以内	2	22	24	16	11	0	75	6.3%
10年以内	2	16	42	28	16	3	107	8.9%
15年以内	0	0	8	29	24	7	68	5.7%
20年以内	0	0	0	17	28	19	64	5.3%
25年以内	0	0	0	1	10	28	39	3.3%
26年以上	0	0	0	0	0	62	62	5.2%
わからない	2	1	3	1	4	3	14	1.2%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q9 あなたは今の日本は結婚しやすい国だと思いますか。点数を10点満点でつけるとしたら何点ですか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
10点	4	2	3	5	1	4	19	1.6%
9点	3	4	4	6	3	6	26	2.2%
8点	8	12	23	20	20	14	97	8.1%
7点	26	33	30	19	19	31	158	13.2%
6点	29	21	22	24	24	16	136	11.3%
5点	54	37	35	34	36	45	241	20.1%
4点以下	46	54	51	52	57	62	322	26.8%
0点	13	11	9	10	10	7	60	5.0%
わからない	17	26	23	30	30	15	141	11.8%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q10 あなたは、子どもがいますか。（元の配偶者との間に子どもがいる場合はその人数も加えてください）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
いない	187	154	136	118	122	91	808	67.3%
1人いる	8	26	28	35	24	33	154	12.8%
2人いる	2	17	24	34	40	62	179	14.9%
3人いる	1	2	9	10	10	13	45	3.8%
4人いる	1	1	3	2	2	1	10	0.8%
5人以上いる	1	0	0	1	2	0	4	0.3%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q11 わが国では20年以上少子化対策が実施されていますが、2022年の出生数は1899年に統計を取り始めてから初めて80万人を下回ると推計されています。1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標となる「合計特殊出生率」は2021年は1.30で、前の年を0.03ポイント下回りました。あなたは少子化が続くことは日本の社会にとって問題があると思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
問題だと思う	164	162	159	152	148	159	944	78.7%
問題だと思わない	13	21	19	23	17	15	108	9.0%
わからない	23	17	22	25	35	26	148	12.3%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q12 あなたは今後、子どもを持とうと思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
現在未婚単身で、将来、単身のままでも結婚しても子どもを持とうとは思わない	54	45	45	47	52	47	290	24.2%
現在未婚単身で、単身のままでも子どもを持ちたいと思う	4	6	5	6	7	1	29	2.4%
現在未婚単身で、結婚するなら子どもを持ちたいと思う	82	49	25	17	3	1	177	14.8%
現在未婚単身で、子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	23	11	17	16	20	14	101	8.4%
現在既婚で子どもはいないが、持とうと思わない	1	8	9	12	17	28	75	6.3%
現在既婚で子どもはいないが、持ちたいと思う	4	17	17	12	9	0	59	4.9%
現在既婚で子どもがいるが、これ以上持とうとは思わない	0	18	29	47	50	67	211	17.6%
現在既婚で子どもがいるが、もっと持ちたいと思う	5	12	14	11	6	0	48	4.0%
現在既婚で子どもがいるが、もっと子どもを持ちたいと思うが現実としては無理だと思う	3	11	17	14	11	18	74	6.2%
わからない	24	23	22	18	25	24	136	11.3%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性							
Q13 あなたが子どもを持つことをためらう理由として考えられることを教えてください。（複数回答可）							
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	人数合計	割合
いまの社会に不安があるので、子どもに同じような不安を感じさせることは気の毒だと思うから	60	71	88	64	47	330	33.0%
塾などの教育費その他でお金がかかり、経済的に不安があるから	80	83	93	92	60	408	40.8%
自分の時間やお金を自由に使えることが嫌だから	57	49	54	46	32	238	23.8%
自分自身の健康や体力に不安があるから	31	43	63	89	97	323	32.3%
配偶者と過ごす時間を楽しみたいから	18	28	17	5	11	79	7.9%
子どもを育てる責任は重すぎるから	61	66	60	68	44	299	29.9%
配偶者が家事や育児を協力してくれるとは思えないから	16	13	19	18	20	86	8.6%
自分は子育てに向いているとは思えないから	63	63	62	65	58	311	31.1%
仕事に専念できずキャリアに影響があるから	20	13	6	9	9	57	5.7%
その他、特にためらっていない	40	44	26	36	38	184	18.4%
Q13 あなた、もしくはまわりが子どもを持たない理由として考えられることは、次のどれだと思いますか。（複数回答可）							
年齢	46以上	割合					
結婚して子どもを持ちたかったが結婚できなかった	55	5.5%					
妊娠の挑戦をしたけれど恵まれず、あきらめざるを得なかった	59	5.9%					
経済的理由により、あきらめざるを得なかった	43	4.3%					
結婚せず子どもだけが欲しかったが、世の中の風潮が許してくれなかった	2	0.2%					
子どもができることを自然に任せていたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	37	3.7%					
仕事や趣味に打ち込んでいたら、配偶者やパートナーが出産適齢期を超えていた	37	3.7%					
配偶者やパートナーが出産適齢期を超えるとわかっていても不妊治療などはしたくなかった、もしくはできなかった	18	1.8%					
配偶者やパートナーが子どもを望んでいなかった	16	1.6%					
そもそも子どもを持ちたいとは思わなかった	56	5.6%					
その他	14	1.4%					
自分もまわりも子どもがいる	36	3.6%					

女性								
Q14 子どもを育てるには世帯年収がどのくらい必要だと、あなたは考えますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
年収は特に関係ない	15	15	10	22	18	22	102	8.5%
300万円以上400万円未満	4	7	7	10	8	9	45	3.8%
400万円以上500万円未満	24	11	20	18	20	27	120	10.0%
500万円以上600万円未満	35	36	33	30	30	39	203	16.9%
600万円以上700万円未満	28	30	23	25	28	32	166	13.8%
700万円以上1000万円未満	28	32	44	35	43	30	212	17.7%
1000万円以上	26	26	30	27	20	15	144	12.0%
わからない	40	43	33	33	33	26	208	17.3%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q15 若い世代が安心して結婚し子育てができるようにするためには、あなたは何かが必要だと思いますか（複数回答可）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
結婚や子育て支援のための給付	136	140	131	109	79	72	667	66.7%
安定して賃金を得られるための支援	122	132	127	136	122	111	750	75.0%
共働きでも安心して子どもを預けることができる仕組み作り	118	116	115	126	127	139	741	74.1%
育児のために仕事を辞めた場合にもキャリアに悪影響なく再就職できる仕組みや風潮	93	90	91	95	86	93	548	54.8%
男性ももっと育児に関われることが可能となる仕組みや風潮	93	88	97	91	98	94	561	56.1%
育児のための育休・時短とそれを取りやすい風潮	98	114	105	104	82	90	593	59.3%
親の介護を心配することなく育児に専念できるよう介護の充実	62	60	57	72	58	57	366	36.6%
子どもの医療費助成の充実	89	93	85	86	64	61	478	47.8%
住宅に関する支援	49	74	65	64	54	45	351	35.1%
その他	7	13	20	13	17	11	81	8.1%

女性								
Q16 子どもがいる、もしくは子どもを持ちたいと考えている方に質問です。配偶者の育児と仕事のバランスについてどれが一番理想ですか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
子育てに専念したい	34	41	38	37	19	21	190	15.8%
職場の制度として許される範囲の期間まで仕事を休みたい	39	27	21	18	18	23	146	12.2%
再度仕事に戻る方法があるのであれば、職場の制度として許される範囲の期間を超えて仕事を休みたい	26	20	24	21	15	19	125	10.4%
子どもの手が離れるまでは仕事はせず、そのためにいったん仕事を辞めざるを得ない場合には再就職したい	12	11	15	15	21	33	107	8.9%
子どもが小さいうちでも、緩やかに仕事をしたい	25	30	32	38	35	27	187	15.6%
できる限り子どもを持つ前と同様に仕事をしたい	11	5	11	8	8	9	52	4.3%
配偶者に育休制度を利用してもらって、自分が仕事をしたい	1	1	3	1	1	0	7	0.6%
その他	4	2	6	4	8	8	32	2.7%
子どもはいないし持ちたいと思わない	48	63	50	58	75	60	354	29.5%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q17 育児休業について定めている「育児・介護休業法」が改正され、令和4年10月1日から育休とは別に、「産後パパ育休」として子が生まれて8週間以内に2回取得でき、さらに「産後パパ育休」を2回取得した後も通常の育児休業を取得できるようにしました。今後あなたに子どもが生まれた際に、あなたの配偶者は現実にこの制度を利用すると思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46 over	人数合計	割合
利用すると思う	94	76	69	57	47	実施せず	343	34.3%
配偶者の職場に知識がなく導入される見込みがないから、利用できないと思う	26	16	30	15	17		104	10.4%
配偶者の職場で理解を得られそうにないから、利用できないと思う	15	18	29	22	23		107	10.7%
一時的であっても、自らの仕事を他人にとられたくない、他人に迷惑をかけたくない等の事情により配偶者が仕事を離れたがらないから、利用しないと思う	7	9	8	14	16		54	5.4%
配偶者がのちのちのキャリアに悪影響があることを懸念し、利用しないと思う	11	20	15	16	14		76	7.6%
制度の詳細が分からないので取り方が分からないから、利用しないと思う	12	17	10	19	12		70	7.0%
保育園や幼稚園に入園しやすいタイミングのことを考えると、長く育児休業をすることによって入園しづらくなることが懸念されるから、利用しないと思う	5	5	4	1	6		21	2.1%
男性が育児をすることは自分が望まないから、利用しないと思う	10	6	7	13	12		48	4.8%
その他	20	33	28	43	53		177	17.7%
人数合計	200	200	200	200	200		1000	100.0%

女性								
Q18 わが国で少子化が継続するとどのような悪影響があると、あなたは思いますか（複数回答可）								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
人口ピラミッドが逆三角形になって生産年齢人口や税金の負担者が減り、国家財政や社会保障が立ち行かなくなる	149	134	144	142	146	155	870	87.0%
人口減で国内の消費量が落ちるとマーケットも縮小し、日本の魅力や競争力が低下する	65	63	87	71	70	78	434	43.4%
農業や工業等に携わる人口が減り、現在のような豊かな供給が維持されなくなる	78	76	86	83	76	86	485	48.5%
地域の子どもの数が減少すると、地域の活力を削がれる	55	59	55	60	61	56	346	34.6%
外国人労働者を頼らざるを得なくなり、移民が増える	54	66	63	72	63	59	377	37.7%
少子化によって悪影響があるとしても一時的なものに過ぎず、課題として取り組む必要性は低い	13	13	10	12	9	4	61	6.1%
少子化の結果、悪影響もあるかもしれない、何が起きるのかは分からないので念のため備えが必要だ	32	27	26	32	36	18	171	17.1%
特に悪影響があるとは思わない	6	7	6	7	6	8	40	4.0%
わからない	16	24	20	12	15	8	95	9.5%

女性								
Q19 少子化対策のための政策に点数を10点満点で付けるとすると、あなたは何点だと思いますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
10点	0	1	1	0	1	1	4	0.3%
9点	2	2	3	0	0	1	8	0.7%
8点	6	2	2	6	2	4	22	1.8%
7点	8	9	12	5	8	11	53	4.4%
6点	22	14	20	16	22	20	114	9.5%
5点	32	24	23	31	34	36	180	15.0%
4点以下	82	85	86	84	85	88	510	42.5%
0点	26	28	25	35	19	19	152	12.7%
わからない	22	35	28	23	29	20	157	13.1%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q20 あなたが重要だと思う国の政策課題を1つ選んでください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
新型コロナ対策	17	16	8	11	6	5	63	5.3%
物価高対策	57	54	50	48	60	45	314	26.4%
景気や雇用	47	59	55	58	64	74	357	30.0%
年金や医療、介護など社会保障	26	17	26	25	33	37	164	13.8%
少子化対策や子育て政策	34	38	38	24	18	11	163	13.7%
環境や気候変動、エネルギー政策	7	2	5	3	4	15	36	3.0%
外交や安全保障	3	4	8	13	5	7	40	3.4%
憲法改正	3	2	4	4	1	2	16	1.3%
地域活性化	0	1	2	0	2	1	6	0.5%
その他	6	7	4	5	7	3	32	2.7%
人数合計	200	200	200	191	200	200	1191	100.0%

女性								
Q21 あなたは岸田内閣を支持しますか。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
支持する	19	9	13	13	12	20	86	7.2%
支持しない	99	122	127	124	120	138	730	60.8%
わからない	82	69	60	63	68	42	384	32.0%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

女性								
Q22 あなたの支持政党を教えてください。								
年齢	18-25	26-30	31-35	36-40	41-45	46以上	人数合計	割合
自由民主党	14	20	27	14	24	24	123	10.3%
立憲民主党	6	5	10	6	3	7	37	3.1%
日本維新の会	10	8	13	10	11	14	66	5.5%
公明党	7	4	4	5	4	0	24	2.0%
国民民主党	7	7	7	7	4	4	36	3.0%
日本共産党	1	1	1	4	6	7	20	1.7%
れいわ新撰組	6	3	3	2	5	4	23	1.9%
社民党	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
NHK党	0	3	2	1	0	2	8	0.7%
参政党	0	0	1	0	0	0	1	0.1%
その他の政党・政治団体	1	0	0	0	0	1	2	0.2%
支持する政党はない	110	115	108	127	124	133	717	59.8%
わからない	38	34	24	24	19	4	143	11.9%
人数合計	200	200	200	200	200	200	1200	100.0%

※本調査のクロス集計（男女別や年齢別など）をご覧になりたい方は、33ページにある本リリースに関するお問い合わせ先からご連絡ください。

調査期間： 2022年12月21日から23日（3日間）

調査対象や人数： 全国の18歳以上の男女合計2,400人（男性1,200人、女性1,200人）

調査方法： インターネット上でのアンケート

注：本調査は「Yahoo!クラウドソーシング」（<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>）を活用しています。
属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。

本リリースに関するお問い合わせ先

紀尾井町戦略研究所 広報担当

Mail: info@ksi-corp.jp Tel: 03 6824 1715

本資料やデータの使用、掲載について

リンクフリーです。必ず下記の出典を明記してください。

[KSI Web調査] 子どもを持たない理由「経済的不安」トップ（紀尾井町戦略研究所）

<https://ksi-corp.jp/topics/survey/web-research-47.html>